

1. 2つの百済野

660年百済滅亡、663年白村江の戦い後 日本に移った王子の善光が朝廷に仕え「百済王氏(クダラノキシウジ)」の氏姓を与えられ、その氏族・渡来人が現在の天王寺区東部から生野区西・中部に広がる平野川(旧百済川)流域に住み着き「百済郡」「百済野」と呼ばれた。

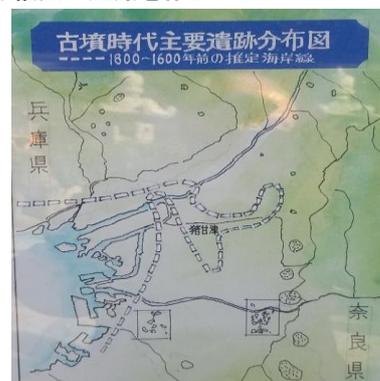
その後 善光のひ孫にあたる敬福が 東大寺大仏造営に黄金を献上した功により河内守に任じられ、一族は河内国交野郡(現枚方市)に本拠を移し、百済寺(現在跡地)を建立するなどして こちらも一帯が「百済野」と呼ばれる。

2. 疎開道路

第二次世界大戦中 空襲時の延焼防止を目的に 強制的に建物を取り壊して(建物疎開)幅広い道路を作ったもので、特に生野区内の3.5kmは 今も疎開道路(正式名称は豊里矢田線)と呼ばれる。

3. 猪甘津橋・鶴の橋

上町台地の東側に沿って百済川(平野川)が注ぎ込み、河口付近に猪甘津(カイツ)と呼ばれる港があって、日本書紀に記されて文献に登場する最古の橋のとされる猪甘津橋が懸かっていたとされる。その後周辺に多くの鶴が飛来した事で「鶴の橋」とも呼ばれ 鶴橋の地名の由来となった。



4. 百済川・平野川

百済川と呼ばれた旧平野川は 猪甘津橋から飛鳥方面へ向かう水運として渡来人などが利用したとみられる。また上町台地東側に広がる河内湖に旧大和川水系の平野川が流れ込み 瀬戸内海・大陸との広域水運の中継機能を担ったとみられる。

また江戸時代には「柏原船」が大坂・柏原間を結び米・肥料を運ぶ物流路として発展する。

ただ旧平野川は蛇行し度々氾濫の為 大正に直線化工事が行われ現在の人工河川の新平野川となった。

5. 弥栄神社

御祭神は 素戔鳴尊と仁徳天皇で、旧木野村、旧岡村など周辺旧村の中心的氏神、また素戔鳴尊と境内摂社に祀られる妻の櫛名田比売を併せて詣でる事で縁結びでも知られる。参道にある出雲型の狛犬は関西では珍しい。



6. 御幸森天神宮・猪飼野

創建406年、御祭神は仁徳天皇、少彦名命、忍坂彦命。仁徳天皇が鷹狩や渡来人の様子を見聞する御幸に際し度々この森で休憩したことから御幸の森と呼ばれ、また日本に論語を齎した王仁(ワニ)博士の「難波津の歌」碑がある。

周辺は 朝廷に献上する猪を飼う技術を持った渡来人の官職が住んでいた事から猪飼野(カイノ)と呼ばれ、生野はこれが訛ったものとされる。また1920年代には工業都市化が進むの大阪に朝鮮半島、取り分け済州島より多くがここに移り住み、「日本国猪飼野」で郵便が着く程であったが、1973年地名変更で地図上からは無くなった。

7. 大阪コリアンタウンと 歴史資料館

1930年代御幸通商店街の南裏路地にあった「朝鮮市場」が 戦後に順次表通りに移転・延長されたが、1980年代に入ってスーパーなどに押されて一時衰退するも、若手を中心とした「コリアンタウン」構想が 2000年代に入って韓流ブームにも乗って年間200万人以上が訪れる人気観光地となった。歴史資料館では 猪飼野とコリアンタウンの歴史が 展示・写真・文献などで紹介されている。

8. コリアンタウンの人気有名店

150店舗ほどあるので お嗜み次第ながら 人気有名店。

- * 山田商店(キムチ販売) * 山田商店食道(飲食・モーニング) * 福一(飲食) * 百済離宮(飲食)
- * 徳山商店(販売・イトイン) * 豊年(バイクing) * 麦の家(キンパ販売) * ジョンノ屋台村(食べ歩き)
- * 眞味食品(珍味販売) * ジョンノハットグ(食べ歩き定番) * SAMI(化粧品) * 河東製油所(搾りたてゴマ油)

9. 鶴橋市場

疎開させられた空地に戦後生まれた「鶴橋闇市」が1948年に廃止され、その跡地は「国際市場」と呼ばれて整備され、現在は 6つの市場・商店会からなる900店舗が 飲食店、食材・服飾品等を営業しているが、まるで迷宮の様で 昔の面影を色濃く残している。

鶴橋へようこそ!

鶴橋駅を中心に東成区、生野区、天王寺区の3つの区にまたがる一大マーケットを形成しています。全体では店舗数は約800件、甲子園球場の約2倍分の面積。この入り組んだ市場や商店街はまるで巨大迷路のよう。知れば知るほど面白いこの迷路を自分なりに攻略すれば、食事、買い物、観光、デート、散歩にと大活躍間違いなし!



©解散場所